

# 新入生アンケートに見る平成18年度 入学生の特徴および過去6年間の結果分析

桜本 逸男<sup>\*1</sup> 松尾 葉子<sup>\*2</sup> 日南住 博<sup>\*3</sup>  
原田 徳彦<sup>\*4</sup> 国重 徹<sup>\*5</sup>

## The Characteristics of the Freshmen in 2006 ---A Comparative Analysis Based on the Results of a Questionnaire to the Freshmen---

Itsuo SAKURAMOTO, Yoko MATSUO, Hiroshi HINAZUMI,  
Norihiko HARADA and Toru KUNISHIGE

### Abstract

Seven years have passed since the school counselors' office was established at Tokuyama College of Technology in 1999. The office has been supporting the students proactively rather than reactively for four years, putting an emphasis on community work. Five years ago, the office started to use a questionnaire to the freshmen inquiring about their worries, motivation to study and so on as a means of the proactive support. The office used the same questionnaire in April this year for the sixth time so as to help the freshmen to adapt themselves to the new environment.

This report comparatively analyzes the results of the questionnaire given to the freshmen from 2001 to 2006 and points out some of their characteristics that should be noted, focusing on three different departments they are in and gender.

**Key Words :** proactive support, reactive support, adapt, new environment, questionnaire

### 1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成13年度から「学生相談室プログラム」<sup>\*</sup>の一環として新入生アンケートを実施している。

この新入生アンケートの目的は、中学という義務教育機関を卒業し、高等専門学校という高等教育機関に入学したばかりの学生が、これまでと全く異なる新しい環境にできるだけうまく適応できるように援助するための資料を得ることである。

平成13年から平成17年に引き続き、平成18年4

月にも新入生に対して、全く同じ内容のアンケートを実施した。アンケート結果に基づき、入学当初より悩みを抱えている学生及び入寮した新入生全員に対して個別面談を実施した。

本稿は、平成13年4月から6年連続で新入生に対して実施したアンケートの結果を比較分析し、平成18年度新入生の特徴を明らかにするとともに、6年間蓄積したデータから読み取れる、本校に入学した学生の注意すべき傾向を、学科や性別に焦点を当てて考察するものである。

<sup>\*1</sup> 機械電気工学科

<sup>\*2</sup> 学生課学生係

<sup>\*3</sup> 土木建築工学科

<sup>\*4</sup> 情報電子工学科

<sup>\*5</sup> 一般科目（英語）

※学生相談室プログラムについては、国重、佐々木<sup>2)</sup>や佐々木、国重<sup>3)</sup>に詳しく論じられている

## 2. 新入生アンケート

新入生アンケートは、鳴澤 (1998) <sup>1)</sup> の東京都立大学新入生対象アンケートを徳山高専用に修正し作成したものである。

アンケートは平成18年4月6日の学生相談室オリエンテーションで実施した。実施方法は、学生相談室スタッフがアンケートを配布し説明を行ったあと学生に記入させ、その場で回収した。

アンケートは記名式で、全員に23の項目、寮生には6項目を追加して尋ねた。

対象は、平成18年度一年生130人(男子104人、女子26人；自宅通学生107人、寮生23人；機械電気工学科生(ME)44人、情報電子工学科生(IE)40人、土木建築工学科生(CA)46人)で、全員から回収できた。

以下に、アンケートの質問項目と回答を示す。回答はパーセンテージで( )内に示してある。

### <2・1> 新入生全員に対する質問

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。  
自宅通学生(82.3)  
寮生(17.7)
2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加しましたか。  
はい(98.5) いいえ(1.5)
3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。  
中学3年生の頃(66.2)  
中学2年生の頃(19.2)  
中学1年生の頃(10.0)  
小学生の頃(4.6)
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。  
はい(90.0) いいえ(10.0)
5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。  
はい(97.7) いいえ(2.3)
6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。  
いいところに就職できる(66.2)  
自分の志望に合っている(48.5)  
自由な校風だから(40.8)  
先生や親にすすめられた(26.2)

- 先輩・知人がいる(10.0)
- 他に入学するところがなかったから(7.7)
- 何となく(6.2)
- 通学の便がいい(6.2)
- 経済的な理由(3.1)
- 兄弟がいる(2.3)
- 入学しやすい(0)

7. あなたは中学校時代に満足のいく学校生活が送れたと思いますか。  
一応満足している(49.2)  
とても満足している(40.8)  
あまり満足していない(8.5)  
全く満足していない(1.5)
8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。  
とても満足している(52.3)  
一応満足している(42.3)  
あまり満足していない(5.4)  
全く満足していない(0)
9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。  
専門的な技術を身につけるため(82.3)  
いいところに就職するため(52.3)  
学生生活をエンジョイするため(26.9)  
教養を高め人間的に成長するため(19.2)  
専攻科や他の大学に進学するため(17.7)  
先生や友人と交流するため(8.5)  
何とはなしに(3.8)
10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。  
一応意欲がある(60.8)  
十分意欲がある(29.2)  
あまりない(8.5)  
全くない(1.5)
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。  
少し不安である(50.0)  
とても不安である(43.8)  
あまり不安ではない(5.4)  
全く不安ではない(0.8)
12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。  
強くそう思う(44.6)  
少しそう思う(43.1)  
あまりそうは思わない(10.8)  
全くそうは思わない(1.5)
13. 自分には徳山高専で友人ができないのではな

いかと心配ですか。

- 少し心配である(36.2)
- あまり心配ではない(34.6)
- 全く心配ではない(14.6)
- とても心配である(14.6)

14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。

- とても楽しみである(54.6)
- 少し楽しみである(40.0)
- あまり楽しみではない(3.8)
- 全く楽しみではない(1.5)

15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。

- はい(54.6) いいえ(45.4)

16. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいましたか。

- はい(83.8) いいえ(16.2)

17. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか。

- はい(88.5) いいえ(11.5)

18. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいますか。

- いいえ(58.9) はい(41.1)

19. あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。

- いいえ(53.8) はい(46.2)

20. 今までに、反抗して親を手こずらせたことがありますか。

- はい(56.9) いいえ(43.1)

21. 今までに、失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか。

- はい(52.3) いいえ(47.7)

22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか。

- 勉強(65.4) 進学(29.2) 就職(25.4)
- 徳山高専が自分に合っているか(21.5)
- 友人関係(15.4)
- 知らなかった人たちとの出会い(13.8)
- 恋愛(12.3) 自分の性格(10.0)
- 体の健康(9.2) 心の健康(4.6)
- 性(2.3) 家庭(1.5)

答えの多かった上位4つに対する年度別の変化を図1に示す。

<2・2> 寮生のみに対する質問

24. 寮生活全般に関して不安を感じていますか。

- 少し不安である(60.9)
- あまり不安ではない(21.7)
- とても不安である(13.0)
- 全く不安ではない(4.3)

25. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思えますか。

- あまり寂しくない(60.9)
- 全く寂しくない(21.7)
- 少し寂しい(13.0)
- とても寂しい(4.3)

26. 寮を出て自宅から通学したいですか。

- 全く自宅通学したくない(39.1)
- あまり自宅通学したくない(30.4)
- 少し自宅通学したい(30.4)
- 是非自宅通学したい(0)

27. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談をしてみたいような事柄や悩みがありますか。

- いいえ(95.7) はい(4.3)

28. 27.で、「はい」と答えられた方へ、それはどのような事柄や悩みですか。複数回答可。

- その他(8.7)
- 先輩との関係について(0)
- 一人暮らしについて(0)
- 寮の施設・設備について(0)

### 3. アンケート結果に見られる主な特徴

<3・1> 学科別の新入生の特徴 平成18年度新入生の学科別の特徴を調べるため、アンケート結果を学科別に比較した。図2から図22は、学科ごとの特徴をグラフ化したものである。また、平成13年度から18年度までの変化を示している。以下、グラフからわかる学科別の特徴を述べる。なお、番号は2章と同じ質問番号を示す。

3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

中学校の低学年から進学決定をした割合が、MEが他の学科より若干多い(図2)。

4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

昨年度と逆転し、今年はIEが一番多い。ここ数年ではCAが減少している(図3)。

5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

MEとIEは全員が希望した学科に入学して

いる。特に、IE では5年連続で全員が希望学科に入っている(図4)。

6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか。

「いいところに就職できる」は、ME が他の学科より若干多い(図5)。

「経済的な理由」は、ME と IE で非常に少ない。特に、ME では0%である(図6)。全体的にも、ここ5年間で一番少ない。

「先生や親にすすめられた」は3科ともほとんど同じ割合である(図7)。

「自由な校風だから」は、ME で3年連続減少傾向にあるが、CA では逆に3年連続で増加傾向にある(図8)。なお、この増加傾向は、女子の結果と同じ傾向である。

「自分の志望に合っている」はすべての学科で減少傾向にある(図9)。またこの6年間で全科とも最低となっている。

「何となく」と答えた学生の割合が、IE では比較的多いが、CA では0%である(図10)。CA では、意識的に自由な校風を選択した学生が多いのではないだろうか。

8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。

全体的に、「満足している」と答えた学生の割合が、ME で一番多い(図11)。「全く満足していない」と答えた学生は、全学科とも一人もいなかったものの、「あまり満足していない」という学生が全学科とも僅かに見られるので、注意が必要である。

9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか。

「専門的な学問・技術を身につけるため」の割合は、ME と IE で若干、減少傾向にある(図12)。

「教養を高め人間的に成長するため」は、3学科ともそれほど多くはなく、技術を身に付ける学校という意識が強い(図13)。

「先生や友人と交流するため」は、前問と同じ傾向である(図14)。

「いいところに就職するため」は、2004年度を境にIE と CA で減少している(図15)。

「学生生活をエンジョイするため」は、昨年とほぼ同じ傾向である(図16)。

「専攻科や他の大学に進学するため」は、ME と IE で昨年と反対の傾向である(図17)。

「何とはなしに」と答えた学生の割合が IE で比較的多い(図18)。

全体を通じて、「専門的な学問・技術を身につけるため」と「いいところに就職するため」が他の設問に比較して非常に際立っている。

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

全学科とも昨年に比べて改善されており、例年並あるいはそれ以上となっている。(図19)。

11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。

IE と CA の約50%が「とても不安」と答えているのに対し、ME は「とても不安」と答えた学生が例年と同様に少ない(図20)。

14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。

「とても楽しみである」と答えた学生の割合が、ME で一番多い。全学科とも昨年度に比べて改善されている(図21)。

15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。

IE では、2年連続で減少したが、ME では6年間で最高となった。(図22)。

<3・2> 男女別の新入生の特徴 図23から図26は、男女別の特徴をグラフ化したものである。以下にその特徴を述べる。

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

男女とも昨年度より改善され、例年並となった。その内訳もほとんど差はない(図23)。

11. あなたは徳山高専での勉強についていけるか不安ですか。

男子は例年と同程度であるが、女子については「とても不安である」が、昨年度より増加した(図24)。男子の方が不安を感じていないようである。

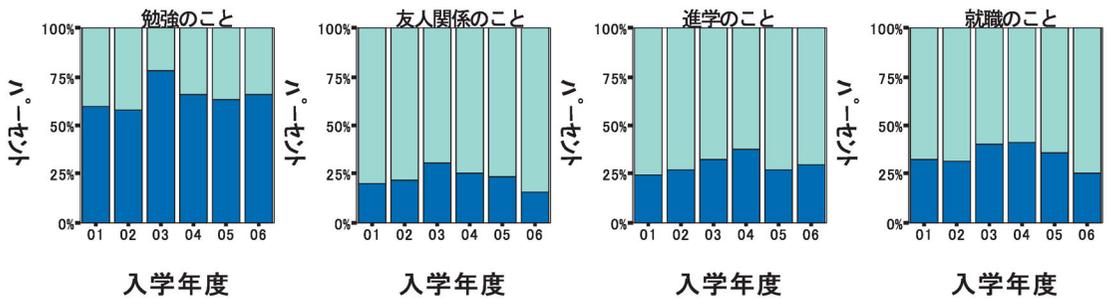
12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。

例年、女子の方がそう思っている学生が多いが、今年度は特にその傾向が強い(図25)。

22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか。

例年と同じ傾向であるが、女子学生の多くが「徳山高専が自分に合っているかどうかに関する」ことを相談してみたいと答えていることから、新入生に対する早めのサポートが必要であろう(図26)。

図1 相談室で相談したい内容の上位4つの年度別変化 ■ 選択 ■ 非選択



学科別に見る新入生の特徴の年度別の変化

図2 あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。  
 ■ 中学3年 ■ 中学2年  
 ■ 中学1年 ■ 小学生

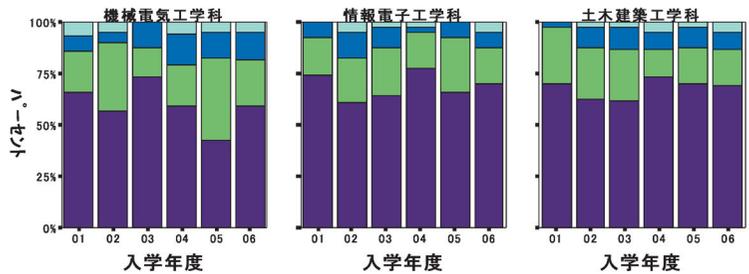


図3 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。  
 ■ はい ■ いいえ

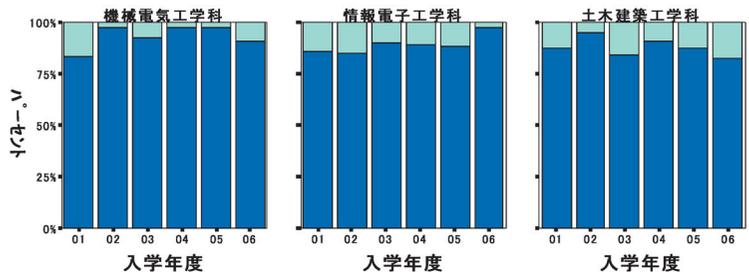


図4 あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。  
 ■ はい ■ いいえ

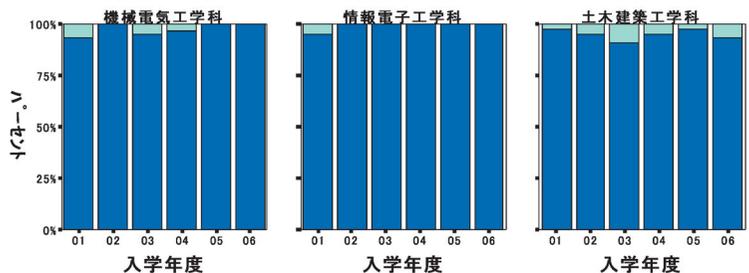


図5 入学の動機  
いいところに就職できる

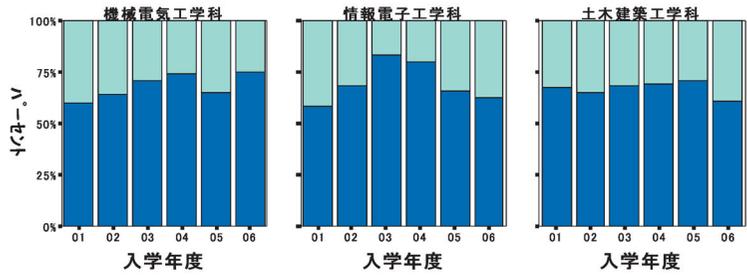


図6 入学の動機  
経済的な理由

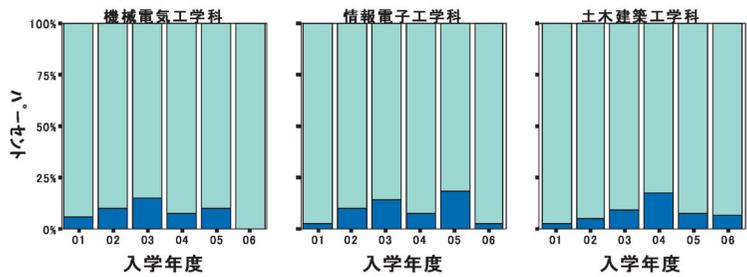


図7 入学の動機  
先生や親にすすめられた

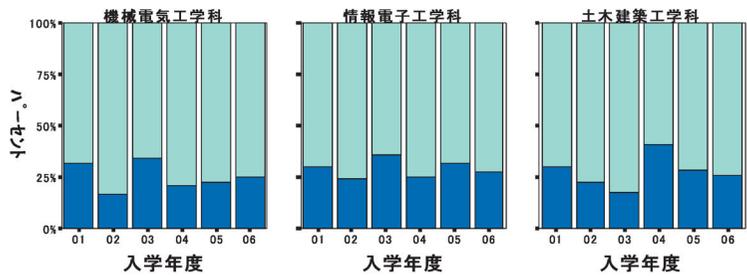


図8 入学の動機  
自由な校風だから

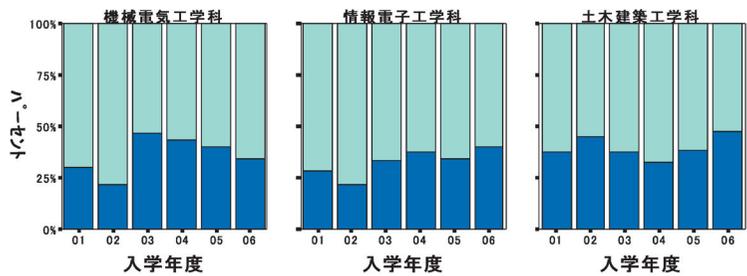


図9 入学の動機  
自分の志望に合っている

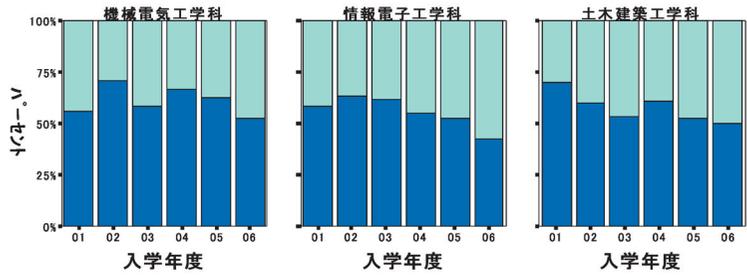


図10 入学の動機  
何となく

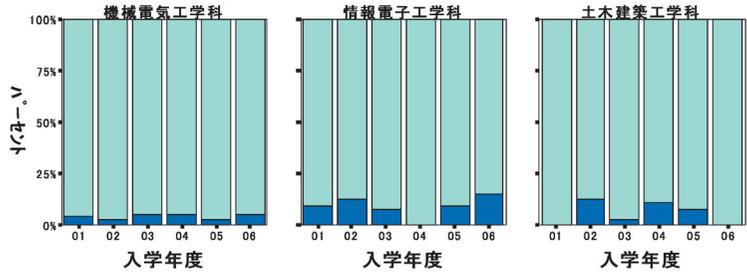


図11 あなたは徳山高専に入学  
できて満足していますか。

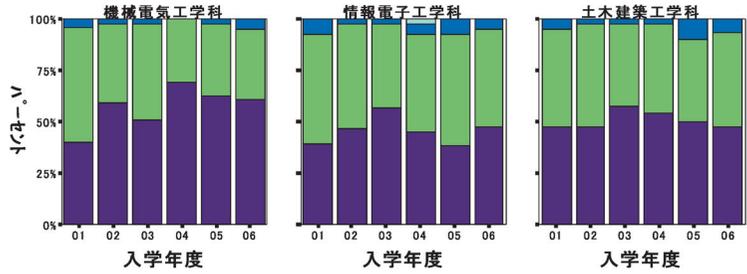
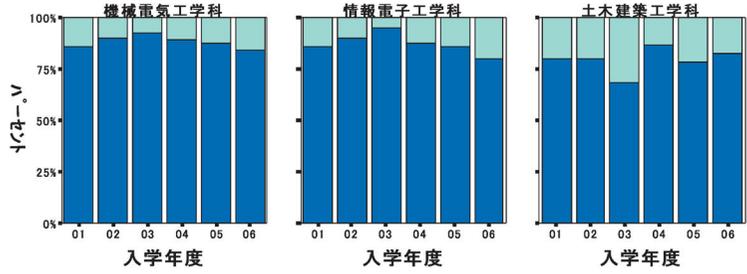
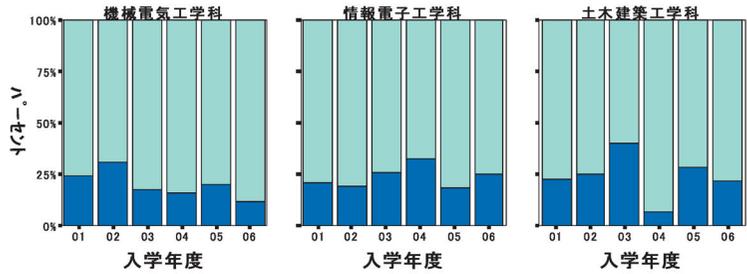


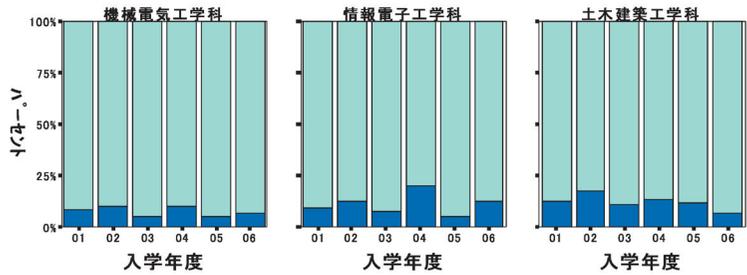
図12 入学の目的  
専門的な学問・技術を  
身につけるため



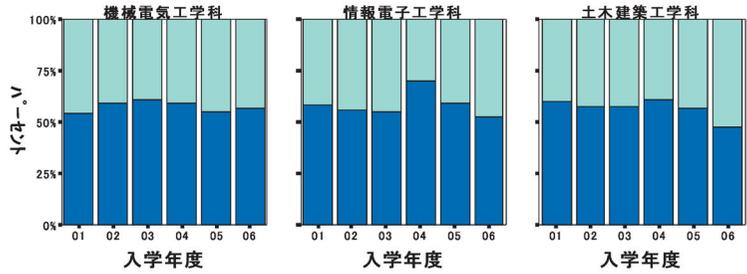
**図 13** 入学の目的  
教養を高め人間的に成長するため  
■ 選択 ■ 非選択



**図 14** 入学の目的  
先生や友人と交流するため  
■ 選択 ■ 非選択



**図 15** 入学の目的  
いいところに就職するため  
■ 選択 ■ 非選択



**図 16** 入学の目的  
学生生活をエンジョイするため  
■ 選択 ■ 非選択

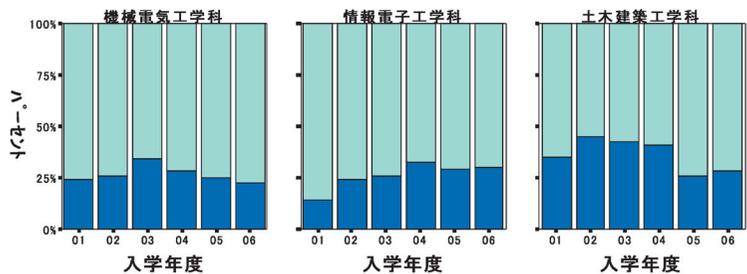


図17 入学の目的  
専攻科や他の大学に  
進学するため  
■ 選択 ■ 非選択

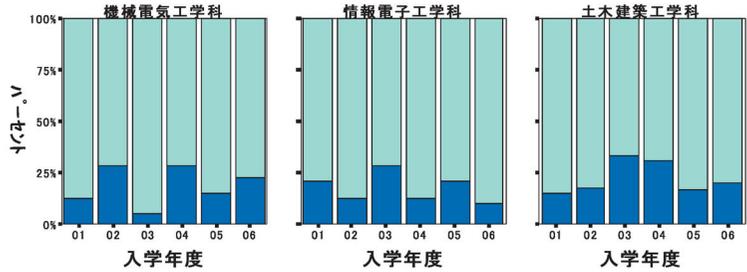


図18 入学の目的  
何とはなしに  
■ 選択 ■ 非選択

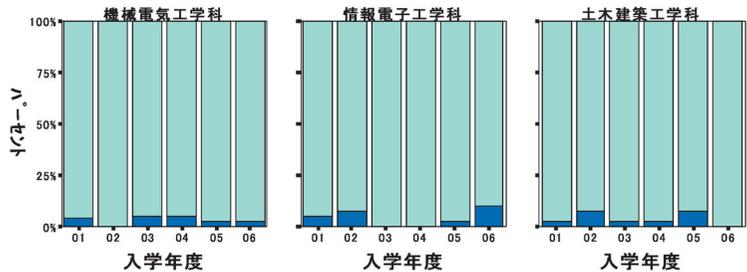


図19 現在、あなたの勉強への  
意欲は次のどれですか。  
■ 十分意欲がある  
■ 一応意欲がある  
■ あまりない  
■ 全くない

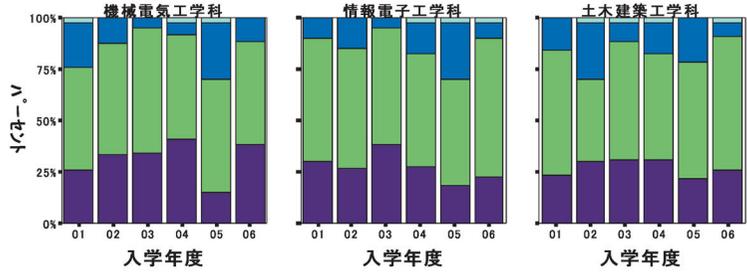


図20 あなたは徳山高専の勉強に  
ついていけるかどうか不安ですか。  
■ 全く不安ではない  
■ あまり不安ではない  
■ 少し不安である  
■ とても不安である

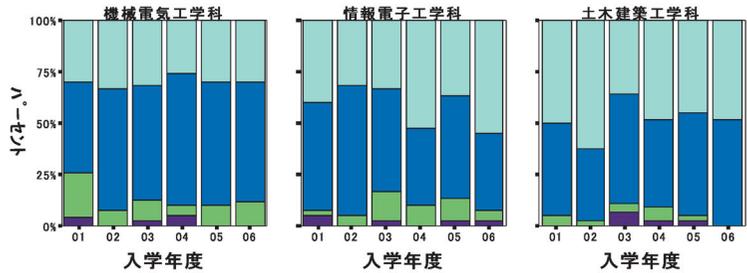


図 21 あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。

- とても楽しみである
- 少し楽しみである
- あまり楽しみではない
- 全く楽しみではない

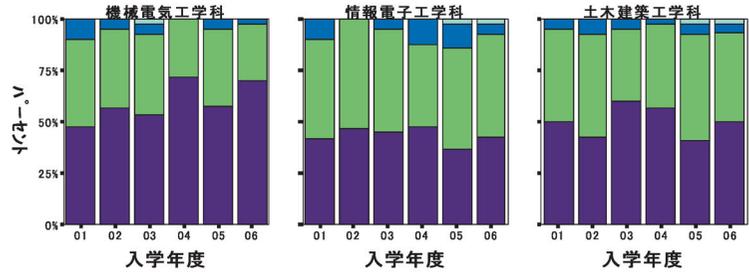
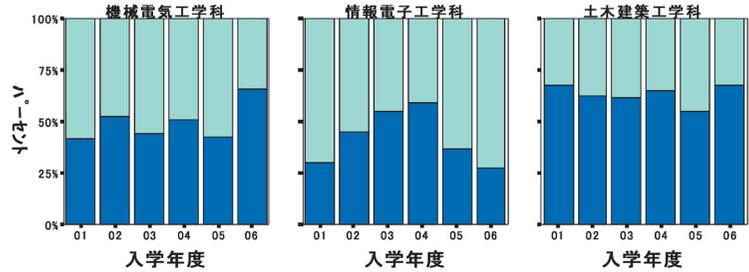


図 22 あなたは自分の将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。

- はい
- いいえ



男女別に見る新入生の特徴の年度別の変化

図 23 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

- 十分意欲がある
- 一応意欲がある
- あまりない
- 全くない

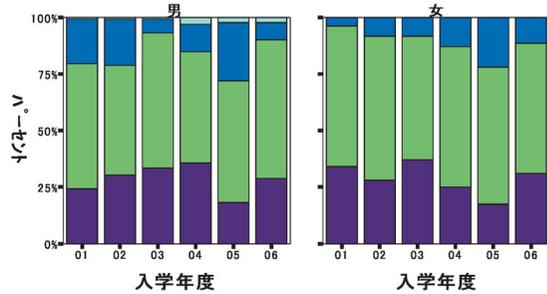


図 24 あなたは徳山高専の勉強についていけるかどうか不安ですか。

- 全く不安ではない
- あまり不安ではない
- 少し不安である
- とても不安である

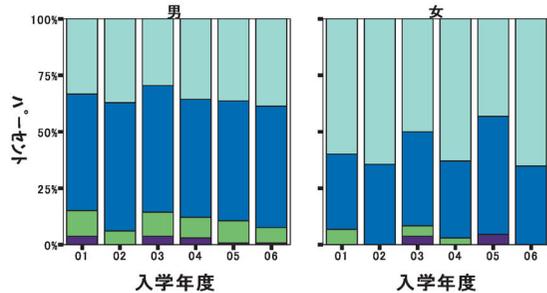


図 25 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。

■ 全くそうは思わない  
■ あまりそうは思わない  
■ 少しそう思う  
■ 強くそう思う

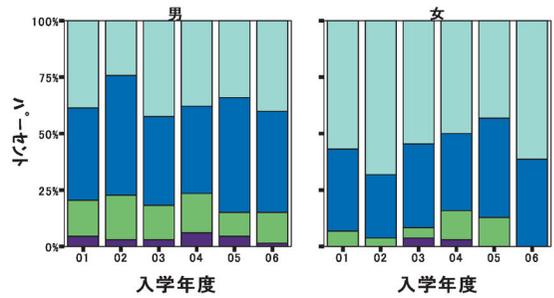
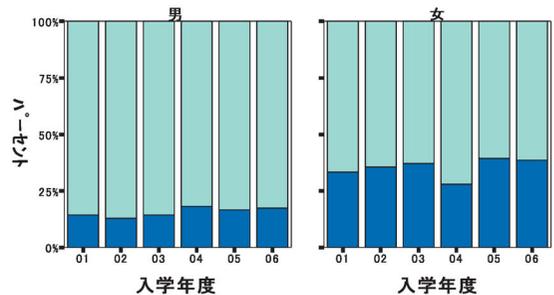


図 26 どのような内容について相談してみたいですか。

徳山高専が自分に合っているかどうかに関する事

■ 選択 ■ 非選択



#### 4. まとめ

平成 18 年度の入学生アンケートの結果を報告した。また、過去、6 年間にわたるアンケート結果との比較を学科別および男女別に分析した。

全体的には、年度が異なるにも関わらず、アンケート結果は極端に大きくは変化しておらず、データとしてみた場合、非常に信頼性が高いものである。今後、数年間にわたり、徳山高専入学生の大卒の意識分布のデータとして使用できると思われる。ただし、男女間の比較に関しては、女子の方が学生数が少ないため、年度ごとの差異が出易くなっていることに注意したい。

最初に、今年度の入学生のみならず、6 年間を通じて言えることを以下に列挙する。

- 本校を第一志望としていた入学生は9割程度おり、そのほとんどが希望した学科に入学できている。
- 入学の動機と目的については、就職志向が約8割であり、入学時には8割以上の学生が学習意欲があると答えている。
- 不安を感じる点として、学習面を挙げる学生が9割以上おり、ほとんどの学生が周りの学生が自分より優れていると思っており、勉強についていけるかどうかの不安を感じてい

る。

- 友人ができないのではないかと不安を感じている学生が半分程度いるものの、9割以上の学生は高専生活に期待を抱いている。しかし、あまり楽しみではないと答えた学生も数人いるので心配である。

次に、今年度入学生の特徴や気付いた点を以下に列挙する。

- 昨年度大きく低下して心配されていた学習意欲であるが、今年度は各学科とも例年並に改善されている。
- 同様に、昨年度低下して心配されていた「学生生活が楽しみ」という問いに対しても、今年度は各学科とも改善されている。
- 入学の動機について、「自由な校風だから」は、男子では年度別であまり変化はないが、女子では大きく増加している。学科別の特徴に、学科を構成する女子数の割合が影響していると思われる。
- 入学の動機が「学生生活をエンジョイするため」や「何とはなし」という回答が女子の方に多い。「自由な校風だから」の回答と合わせて、女子の方が入学の動機が曖昧である。
- 「反抗して親に迷惑をかけたことがあるか」

という設問では、今年度の女子が他年度と比較して、かけたことがないという回答が極めて多い。前の二つの項の結果と合わせて、今年度の女子の傾向が見えそうである。

- 入学の動機が「経済的な理由」を選んだ学生が、今年度は非常に少ない。
- 「将来の自分の職業となりたい人物像を決めていますか」という設問に対しては、IEでは2年連続で減少し、25%程度であったのに対し、MEでは6年間で最高となり、70%近くを占めた。男女間で傾向がほとんど変わらないことから、学科の特徴であると思われる。
- 「学校生活が楽しみ」の設問では、MEが他の2学科よりも非常に多い。これも男女間がほとんど同じ傾向であることから、学科の特徴であると思われる。特に、IEが比較的少なく、前項の結果と合わせて、入学時点での考え方や性格の違いが見えそうである。
- 「勉強についていけるかどうかとても不安」の設問に対しては、MEが他の2学科よりも非常に少ない。しかし、これに関しては、男女間では女子の方が不安を感じる傾向が高いことから、女子の傾向が影響しているものと思われる。

最後に、6年間を通じた入学生の大卒の意識分布のデータや学年ごとのデータを基に、学校生活への適応に対する効果的な援助活動を協力して行うためのネットワーク作りが必要である。また、これらの分析結果が学校全体の学生指導の一助になれば幸いである。

### 参考文献

- 1) 鳴澤：新入生の実態調査、東京都立大学学生相談室レポート、9、PP. 6-42 (1980)
- 2) 国重、佐々木：新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について、論文集「高専教育」、第25号、PP. 455-460 (2002)
- 3) 佐々木、国重：高専における学生相談の具体的な活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——、論文集「高専教育」、第25号、PP. 461-466 (2002)

(2006. 9.11 受理)